

<p>「保守プロジェクト版・方針管理」の導入 ～保守プロジェクト見える化の提案～</p>
<p>Introduction of "application operation and maintenance project version management and policies" ～ Proposed the visualization application operation and maintenance project ～</p>
<p>秀島 志嗣 hidehsima_motoji@intec.co.jp 株式会社インテック S I 事業本部 プロジェクトマネジメント室</p>
<p>発表要旨：</p> <p>私の所属する部門は、エンタープライズ系システムの構築及び保守を担当しており、お客さまに安定した運用保守サービスを提供することを目標に、さまざまな取り組みを行ってきている。</p> <p>その中の一連の改善活動である「保守プロジェクトの見える化」施策として「プロジェクトカルテ」を導入し、半期・年度の単位で実績を整理させ、整理した結果から改善点を見つけ次年度の計画書に反映するというところをここ数年間行ってもらってきた。</p> <p>しかしながら、この施策は主に実績（結果）の整理に主眼を置いていたために多くの保守プロジェクトでは、見つけ出した改善点をプロジェクトとしての具体的な目標としてプロジェクトの計画に反映することができていなかった。（前年度と同じことをそのまま維持するという内容になっていた。）そこで保守プロジェクトであっても維持管理だけに注力するのではなく常に改善サイクルを回し、プロジェクトの活動にメリハリをつける必要があるという考えのもと、方針管理の考え方を導入した。</p> <p>本発表では、今回取り組んだ「保守プロジェクト版・方針管理」について紹介し、それを通じて保守プロジェクトの見える化をどのように実現したかについて述べる。</p>
<p>キーワード：</p> <p>見える化</p>
<p>想定している聴衆</p> <p>アプリケーション運用・保守業務に携わっている方々</p>
<p>発表者の紹介（全角100文字）：</p> <p>1991年入社。2008年頃より部門内のプロセス改善活動に参画し通常業務の傍らプロセス定義や品質に関する業務に従事し始める。2010年より現部門に異動しアプリケーション運用・保守における品質保証関連をメインに活動を行っている。</p>

* 副題は不要であれば行ごと削除してください